

■現状の試験システム

試験申込者(施工者・代行者)		媒体	GBRC	備 考
一般試験	DB 試験			
・データシートの作成* <sup>1)</sup> ・供試体の搬入(試験依頼)  ・速報の受領(要請時) ・一般報告書の受領	・DB 契約書の作成(母店・作業所) ・発注書の作成* <sup>1)</sup> ・供試体の搬入(試験依頼) ・発注書データの送信* <sup>2)</sup>  ・速報の受領(要請時) ・速報の受領 ・中間報告書、完了報告書の要請 (発注書データ(確定)の送信) ・中間報告書、完了報告書の受領	→ 窓 口 ・ 郵 送 ← メ ー ル ← ← 窓 口 ・ 郵 送 ← → 窓 口 ・ 郵 送 → → メ ー ル →  ← T E L ・ F A X ← ← メ ー ル ← ← 窓 口 ・ 郵 送 ← → T E L ・ F A X ・ 窓 口 → → メ ー ル → ← 窓 口 ・ 郵 送 ←	・DB 契約書の受領 ・発注書データの雛形の送付 ・データシート原紙の送付 ・データシート・発注書と供試体の照合  ・試験の実施 ・発注書内容、データシートと結果の精査 ・速報発信(TEL・FAX) ・速報発信(1回/日)* <sup>3)</sup> ・一般報告書の作成・発行  ・中間・完了報告書の作成・精査 ・中間・完了報告書の発行	専用データシート原紙を使用。入力用 Excel ファイル配布 代行者による依頼の場合は、施工者が発注状況を確認できない。  複数箇所への TEL・FAX 要請もある。 1 アドレス・1FAX/作業所に限定される。  判定強度の誤りに気づいた場合、判定をこの時点で変更しなければならないこともありうる。

- 1) 代行者が作成したデータシート、発注書に記載されている情報を施工者が確認することが困難。報告書発行後の修正には費用を要する。
- 2) 試験前の発注書データに、不備や空欄(打込み量、打込み箇所、フレッシュコンクリート試験値など)が多い。電子データが GBRC に送信されないこともある。
- 3) 各試験室の結果を中央試験室で集約した後(全ての試験が終了した後)に速報を送信。概ね 15:00 以降となる。

■「試験申込・速報クラウドシステム (CTP)」

試験申込者(施工者・代行者)		クラウドシステム* <sup>1,2)</sup>	GBRC	備 考
一般試験	DB 試験			
・データシートの作成* <sup>3)</sup> ・データの送信 ・データの修正* <sup>4)</sup> ・供試体の搬入(試験依頼) ・発注状況の確認  ・速報の閲覧 ・一般報告書の受領	・DB 契約書の作成(母店・作業所) ・発注書の作成 ・発注書データの送信 ・発注書データの修正* <sup>4)</sup> ・供試体の搬入(試験依頼) ・発注状況の確認  ・速報の閲覧 ・中間報告書、完了報告書の要請 ・中間報告書、完了報告書の受領		・DB 契約書の受領 ・発注書の閲覧 ・データシートの閲覧 ・データシート・発注書と供試体の照合  ・試験の実施 ・結果の精査 ・結果のアップロード・メール案内* <sup>5)</sup> ・一般報告書の作成・発行 ・中間・完了報告書の作成・精査 ・中間・完了報告書の発行	専用データシートの廃止 代行者による依頼の場合も、施工者が発注状況を確認できる。  5 アドレス/作業所まで可能。監理者や発注者のアドレスでも可。 母店担当者へもメールで案内。→結果の閲覧が可能 施工者の確認による判定強度等の情報の早期修正 ・修正事項の減少による報告書の早期発行

- 1) ユーザの利用(アクセス)履歴が記録される。
- 2) セキュリティ: SSL 証明あり。
- 3) 専用シートの廃止による、プリンタの機種に依存する印刷のずれの解消。
- 4) 24 時間、いつでも入力・閲覧・情報修正を行うことができる。
- 5) 試験結果のアップロードの頻度: 目安として、午前 1 回、午後 2 回。各試験室からの発信。